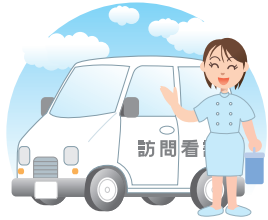


社会福祉法人 富山県社会福祉総合センター (昭和48年12月設立) の経営する施設一覧

種別	リハビリ専門病院・児童発達支援センター・障害児入所施設			居宅サービス事業所	障害福祉サービス事業所	障害者支援施設	障害者支援施設	相談支援事業所	軽費老人ホーム			
施設名	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター (県立：指定管理)			高志訪問看護ステーション (指定管理)	高志生活訓練センター	高志ワークセンター (旧 高志福祉作業センター)	高志ワークホーム (旧 高志授産ホーム)	高志ライフケアホーム (旧 高志療護ホーム)	高志福祉相談センター	九重荘		
主な沿革	昭和52年 9月 (富山県立高志学園 移転開設 (県立県営)) 昭和59年10月 (富山県高志リハビリテーション病院開設 (法人受託運営)) 昭和59年10月 (富山県高志通園センター開設 (法人受託運営)) 平成28年 1月 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター 開設 (202床) (高志リハビリテーション病院、高志通園センター、富山県立高志学園を統合再編成) 平成30年 3月 病院機能評価3rdG:Ver.1.1認定 平成30年 7月 療養介護棟 (療養介護事業所・短期入所) 開設 (定員30床)			平成26年 4月 開設 平成30年7月から受託運営 (指定管理)	平成30年10月 高志ワークセン ター多機能型自 立訓練開設 (定員 機能訓 練10名、生 活 訓練10名) 平成31年 4月 高志生活訓練 センター開設	平成 2年 4月 開設 (定員30名) 平成16年 4月 (定員40名) 平成24年 4月 新体系移行 (定員46名) 平成25年 4月 (定員40名) 平成28年 7月 旧高志通園セン ターへ移転	昭和54年 4月 開設 (定員50名) 平成16年 4月 (定員44名) 平成16年10月 (定員40名) 平成24年 4月 新体系移行 平成28年 4月 (定員30名) 平成28年 7月 旧高志リハビリ テーション病院 3階へ移転	昭和57年 4月 開設 (定員50名) 昭和63年 4月 (定員86名) 平成7年 9月 (定員90名) 平成24年 4月 新体系移行 平成26年 4月 高志サポート ホーム統合 平成26年10月 (定員80名) 平成30年 7月 (定員69名)	平成25年 4月開設 一般相談 (地域移行) 支援事業 障害児相談支援事業	昭和49年 7月開設 (定員50名) 昭和54年 4月増設 (定員100名)		
実施サービス内容及び定員	[リハビリ病院] 回復期リハビリテーション病棟 100床 一般病棟 50床	[入所施設] (こども棟) 医療型障害児入所施設 50床 短期入所 2床 日中一時支援 療養介護棟 (おとな棟) (療養介護事業所・短期入所) 30床	[通所施設] 医療型児童発達支援センター 40名 福祉型児童発達支援センター 30名 児童発達支援事業 10名 放課後等デイサービス } 5名 生活介護 保育所等訪問、 障害児等相談支援事業	訪問看護 訪問リハビリテーション	機能訓練 10名 生活訓練 10名	就労継続支援B型 34名 (非雇用型) 就労移行支援 6名	生活介護 30名 施設入所支援 30名 短期入所 (空床型)	生活介護 69名 施設入所支援 69名 短期入所 2名 日中一時支援 2名	特定相談支援事業 一般相談 (地域移行) 支援事業 障害児相談支援事業	100名		
サービスの概要	富山県におけるリハビリテ ションの中核的病院として、他 の医療機関では受け入れ困難 な重症患者等を積極的に受け入 れ、効果的なリハビリの実施に より、患者の早期回復・早期在 宅復帰を促進します。 県の委託により、富山県高次 脳機能障害支援センター (平成 19年1月～)、富山県リハビリ テーション支援センター (平成 13年11月～) として、地域リハ ビリを推進します。			脳性麻痺、外傷その他の病 気で、四肢や体幹の機能に障 害のある児童を入所させ、整形 外科的及び小児神経的な治療や 将来の自立に必要な身体と知識、 社会性を培えるよう、生活 指導、療育を行います。 また、重度重複障害への対応、 親子入所、ショートステイ、レス パイトケアなど、幅広いサービ スを提供します。 医療ケアの必要な重症心身障 害者や難病患者に機能訓練、看 護、介護及び日常生活の支援を 行います。	子どもの多様な障害に対応 し、発達の遅れや偏りが気にな る児童に、診療・相談・評価・ リハビリテーション・保育に至 る一貫した機能で、早期発見・ 早期支援を行います。 また、障害児が安心して住み慣 れた地域で暮らせるよう、様々 な事業を実施し、地域生活の支 援体制を強化します。 富山県発達障害者支援セン ター (平成15年7月～) 及び障 害児等療育支援事業 (平成9年 1月～) を実施し、障害児 (者) を支援します。	要支援・要介護状態にある方 や病気、けがなどにより家庭に おいて療養が必要な方 (特に重 症心身障害児 (者)、脳性麻痺・ 神経難病や脳卒中患者) を対象 に、住み慣れた地域や家庭で安 心して生活が送れるよう、看護 師、理学療法士、作業療法士、 言語聴覚士が訪問し、訪問看護 リハビリサービスを提供いたし ます。	【自立訓練】 (機能訓練) 病院を退院後、生活能力の維持 ・向上のためのリハビリを希望 される方々に対して、一定期間、 療法士による訓練や能力に応じ た個別訓練を実施します。 (生活訓練) 障害のある方に対して、一定の 期間を通して、家事全般や金銭 管理など様々な生活経験を積み 重ね、一人ひとりが納得のいく 生活力を身に付けるための個別 訓練を実施します。	【就労継続支援B型】(非雇用型) 一般就労が困難な方々に、より 高い価値を生み出す作業を提供 し、工資向上を目指しています。 【就労移行支援】 一般就労を希望される方々に 、就職に向けてスキルアップ訓 練を行うとともに、障害者職業 センター、ハローワーク等と連 携した支援を一定の期間にわた り行います。 <生産活動内容> ●ゴム製品の外観検査・加工 ●オムツ・清拭のタタミ ●産業機器の部品加工 ●自動車用電線加工	【生活介護】 常時介護が必要な身体障害者 の方々に対して、社会的自立を 図るために、それぞれのニーズ を把握した上で、必要な支援 を行うとともに、高志ワークセン ターと連携して、生産活動の機 会を提供します。 【主なサービス】 ●食事・入浴・排泄等の日常生 活支援 ●生産活動 ●機能訓練 ●スポーツ (ウォーキング、卓 球パレー、フライングディスク、 ボッチャ等) ●サロン (喫茶、足湯、カラオケ、 ゲーム、DVD 鑑賞等) 【施設入所支援】 通所が困難な自立訓練の利用 者や、生活介護の利用者で、障 害支援区分4 (50歳以上は3) 以上の方々に主として夜間にお いて、必要な生活支援を実施し ます。	【生活介護】 常時介護を必要とする身体障 害者の方々が、明るく充実した 生活を送るために必要な日常生 活上の介護・相談等の支援を行 います。 事前に利用者の意向を伺い、 障害特性に即して個別支援計画 を立て、身体機能の維持、生活 の質の向上に重点を置いていま す。 また、日々の生活が「安心・ 安全・健康」であり、趣味・余 暇では、生き生きと心から楽し めるような各種支援メニューを 提供しています。 (例) ●創作活動：「絵画」「習字」「生 け花」「音楽活動」「DVD 映 画鑑賞」など ●スポーツ競技活動：「ボッチャ」 「卓球」「フライングデスク」 「運動会」など ●年間行事：「社会見学」「花火 大会」「施設祭り (あつまら〜 れ)」「クリスマス会」など 【施設入所支援】 平日の夜間を含めて、土日祭 日の基本的な生活支援 (介護) を切れ目なく行っています。具 体的には、食事・入浴・排泄・ 着脱・清潔・服薬等の日常生活 上の必要な支援を行います。 作業療法や運動療法、その他 必要なリハビリテーション支 援を行います。	【基本相談】 ●障害のある人、その保護者、介 助者などからの相談に応じ、必要 な情報提供や権利擁護のために 必要な支援を行います。 【特定支援相談】(計画相談支援) ●福祉サービス等を利用する場 合に、サービス利用計画を作成し ます。 ●一定期間ごとに評価と見直し を行います。 【障害児相談支援】 ●障害児の通所サービス等の利 用計画を作成します。 ●一定期間ごとに評価と見直し を行います。 【地域相談支援】(地域移行支援) ●入所施設から地域生活への移 行に必要な相談や支援を行いま す。 ●入所施設への訪問相談を行いま す。	60歳以上の自立した生活ができ る方に、低額な料金で安心かつ 生き生きと明るい生活を提供しま す。 ●居室は個室と夫婦室がありま す。 ●嘱託医・看護師による健康相 談や栄養士による食事管理を行 っています。 ●外泊、外出は届け出により自由 にできます。 ●レクリエーション、日帰り旅行 等の行事、各種クラブ活動が あります。 【協力病院】 流杉病院
	【リハビリ病院】：早期の自立度改善と在宅復帰 ●急性期病院との連携等による切れ目のない医療体制の充実 ・地域医療福祉連携室、医療ソーシャルワーカー、入院前訪問などの充実 ●高度・専門的なリハビリテーション医療の提供 ・磁気刺激、電気刺激、ボトックスなどによる各種治療の積極的な実施 ・専門外来をはじめ、合併症患者への対応等のための総合的な診療体制 ・より重症な (自立度の低い) 患者の受け入れ ・高次脳機能障害への積極的な対応 ●チーム医療による総合的リハビリテーションの実施 ・365日 (土日) リハビリの充実 ・FIM (自立改善度) の向上 ・摂食嚥下障害に対するX線テレビ造影や言語聴覚士による専門的な訓練 ●ロボット等を利用した先進的なリハビリへの取り組みや福祉機器の研究開発などテクノエイドセンター機能の充実 ・リハビリロボット、歩行練習アシスト、運転シュミレーター、3次元動作解析などによる効果的な支援 ●地域リハビリテーションの推進 ・医療圏毎の広域支援センターへの指導、リハビリ人材の育成 ・関係機関との連携強化や福祉機器の普及による地域包括ケアシステムへの支援			富山県発達障害者支援センター 愛称 ほっぷ			【行事等】 月一回の社会見学・買い物学習、日帰りバス旅行、忘年会などがあります。 【協力病院】 富山県リハビリテーション病院・ こども支援センター			 		
所在地及び連絡先	〒931-8517 富山市下飯野36番地 TEL 076-438-2233 FAX 076-437-5390 こども支援センター専用FAX 076-426-1588 soumu@toyama-reha.or.jp			〒931-8443 富山市下飯野36番地 TEL 076-438-7228 FAX 076-438-7218		〒931-8443 富山市下飯野36番地 TEL 076-438-4502 FAX 076-438-4503 work@selp-toyama-koshi.jp	〒931-8443 富山市下飯野36番地 TEL 076-438-6019 FAX 076-438-6069 koho@koshi-life.jp	〒931-8443 富山市下飯野36番地 TEL 076-438-2226 FAX 076-438-6069	〒939-8032 富山市流杉177番3号 TEL 076-423-7880 FAX 076-423-1103 info@kokonoesou.jp			
ホームページ	http://www.toyama-reha.or.jp			http://www.toyama-syasougou.jp			http://www.koshi-lifecarehome.jp	http://www.toyama-syasougou.jp	http://www.kokonoesou.jp			

I 法人の理念

誰もが、その人らしく暮らせる「共生社会」を目指し、障害児・者の自立と社会参加に向けて、総合的なリハビリテーションを推進し、地域社会に貢献します。

II 基本方針（重点取り組み）

理念に基づき、5つの重点的な取り組みを推進します。

- 1 利用者本位の安全で安心できるサービス、良質な医療と福祉の提供に努めます。
- 2 高度・専門的なリハビリ医療や福祉との連携により総合的なリハビリテーションを推進します。
- 3 地域包括ケアシステムに貢献する地域リハビリテーションを推進します。
- 4 専門的な人材の育成及び働きやすい環境の整備を図ります。
- 5 効果的、効率的な運営に努め、経営基盤の強化を図ります。

III 職員の行動規範（心構え）

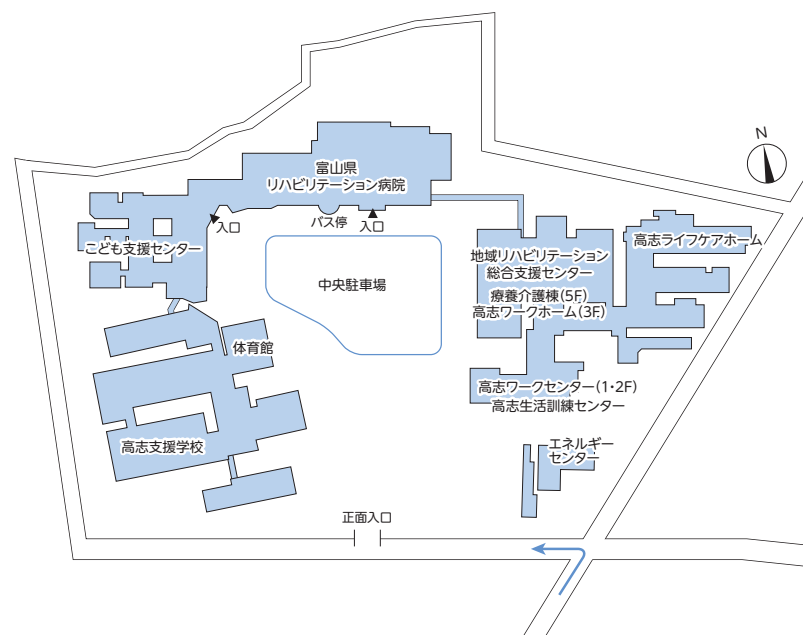
仁 私達は、ひとりひとりの尊厳を守り、思いやりと愛情をもって、信頼される医療・福祉を実践し、利用者の皆さんの自立を支援します。

和 私達は、医療・福祉の総合的なサービスのため、お互いの連携・協力のもと、満足度の高いチーム医療・福祉を実践し、社会に貢献し、地域と絆を結びます。

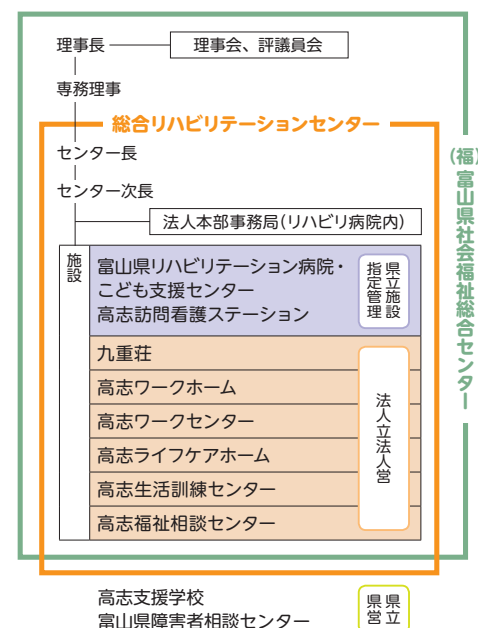
志 私達は、専門職としての誇りのもと、常に先進的な課題に挑戦し、最高のサービスを提供します。

育 私達は、こどもたちの発達、生きる力を育みます。

施設配置図



組織機構



交通のご案内



- 富山駅前より地鉄バス
・県リハビリテーションセンター行終点下車（所要時間 40 分）
- JR 東富山駅下車
● JR 東富山駅口より地鉄バス
・県リハビリテーションセンター行乗車
● タクシー 5 分 ● 徒歩 30 分



- 富山駅前より地鉄バス利用（所要時間 30 分）
・流杉病院行終点下車 徒歩 100m



社会福祉法人 富山県社会福祉総合センター

〈富山県総合リハビリテーションセンター〉



富山県リハビリテーション病院・こども支援センター

富山県リハビリテーション病院・こども支援センター

高志訪問看護ステーション

九重荘

高志ワークホーム

高志ワークセンター

高志ライフケアホーム

高志生活訓練センター

高志福祉相談センター



こども支援センター
交流ロビー

リハビリテーション室・
ロボットスーツHAL

社会福祉法人 富山県社会福祉総合センター

〒931-8443 富山市下飯野36番地 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター内
TEL (076) 438-2233 (代) FAX (076) 437-5390 <http://www.toyama-syasougou.jp>